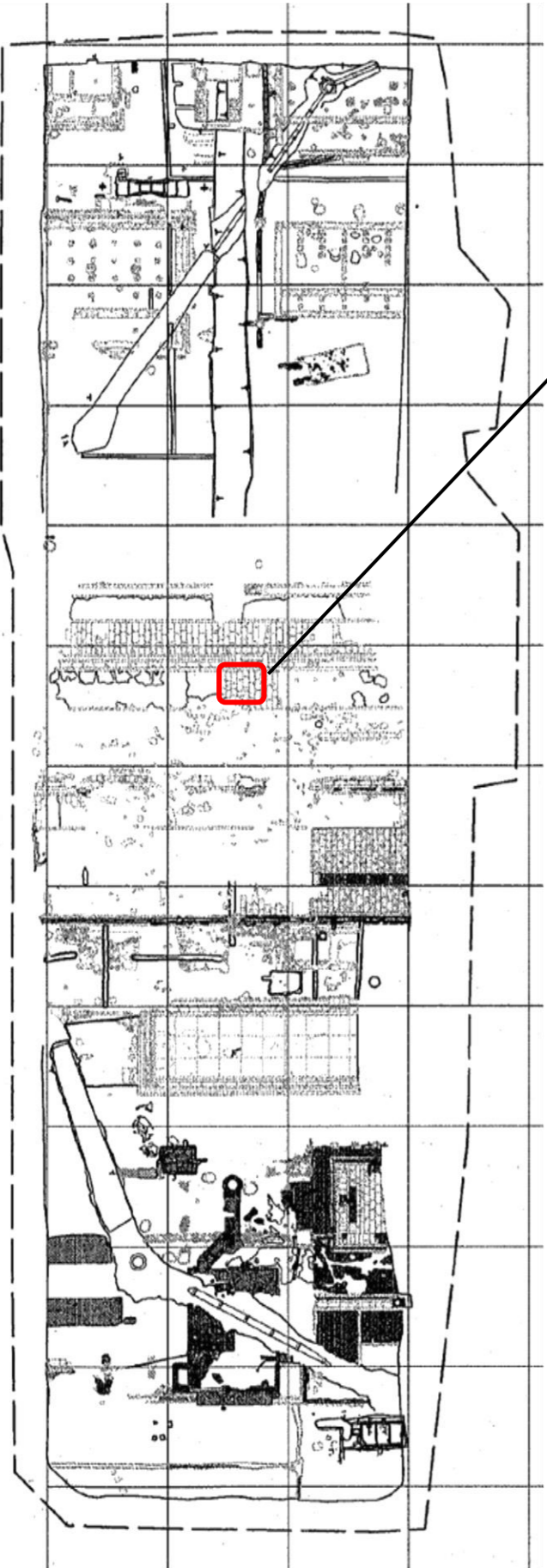
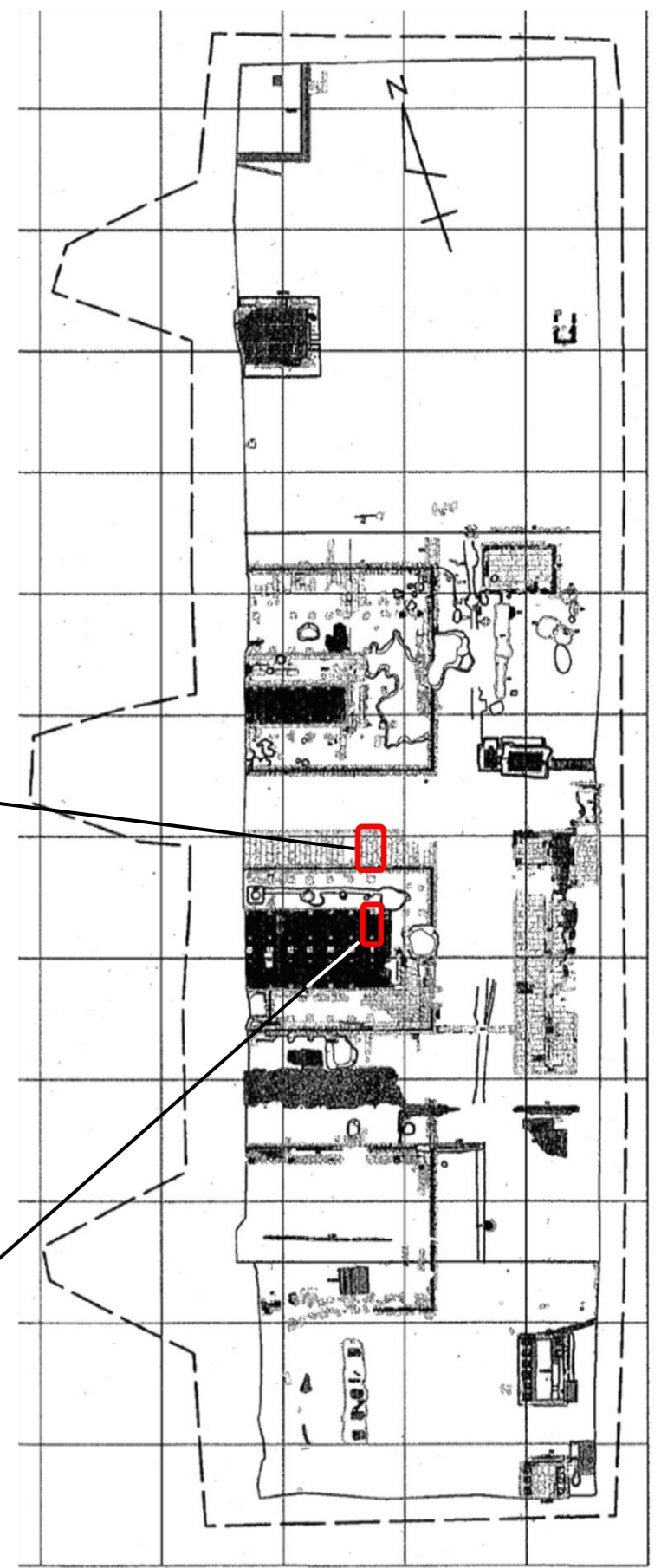


中国軍管区輜重兵補充隊の施設跡の遺構については、旧陸軍の輸送部隊において中心的役割を果たした軍馬が飼育されていた歴史を踏まえ、当時のこの施設を想起しやすく、戦前の広島の様子の一端をうかがい知れるという観点と、屋外等においても耐久性があり利活用しやすい素材であることから、次の3か所を切り取り、保存・活用を検討することとする。

A区



B区



厩舎入口の石畳

【対象範囲】

石畳（約1m×約0.5m）25枚分程度の範囲

【選定理由】

他の場所で検出されている石畳と異なり、一部の石畳の表面に、馬が滑らないようにするためか、溝を掘る加工が残っている。

ていれば
馬の手入場の石畳及び支柱跡

【対象範囲】
石畳（約0.9m×約0.4m）12枚分程度の範囲

【選定理由】
厩舎に隣接する手入場の石畳には、馬の管理を行う際に、馬をつなぎとめておくための支柱跡も残っている。



厩舎の礎石等及びアスファルト床面

【対象範囲】
床面（約1.5m×約4m）の範囲

【選定理由】
馬の飼育を行っていた厩舎の構造の一端を示す礎石等及びアスファルト床面が残っている。

